

## 【現代社会学部】令和6年度 FD 活動の「年間報告」

### 1. 学部独自の FD 活動についての報告（\*は必須項目）

#### (1) 公開授業・ワークショップ

※公開授業と公開授業に関するワークショップが対象

##### ①公開授業：

- ・科目：「ホスピタリティと企業活動」「ホスピタリティ人材育成論」
- ・担当教員：坂口雅市
- ・実施日時/場所：11月26日（火）T204教室、11月28日（木）5405教室
- ・\*参加人数 125名（教員4名、職員3名、学生118名）

##### ②ワークショップ：

・ワークショップは実施せず。ただし、公開授業を参観した教員間でメールによる振り返りと意見交換とを実施した。

#### (2) その他研修会等

※(1)以外の学部FDとして実施する研修会が対象（人権研修会を除く）

- ・テーマ：障害学生支援における合理的配慮と事前的改善措置
- ・概要：障害学生教育支援センターの職員の方に学部に来ていただき、合理的配慮と障がいのある学生に対する本学での支援体制についてお話いただいた。
- ・実施日：12月18日（水）
- ・\*参加人数 39名（教員33名、職員6名）

### 2. 総括（今年度の学部FDを通して得られた気づきや見つかった課題等）

公開授業については、授業内容はアクティブラーニングを活用したよく練られた授業であり、さまざまな工夫について学ぶ所が多く、他の科目でも参考になりうる授業であった。ただし、時間割の関係で他の教員の参加の難しい時間帯となったため、教員の参加者が少なかった。今後はこの点の改善を検討する必要がある。

障害学生支援に関する研修会では、合理的配慮や障害支援をめぐる解説を聞いたのち、質疑応答において活発に意見交換が行われた。障害のある学生への教育の在り方について、教員間のみならず、教員と職員との間でも共通理解を深めることができた。多様な学生の受け入れを進める中、学部として今後の教育活動を考えるうえで非常に有益な研修会であった。

### 3. 次年度に向けての取り組み

令和6年度で取り上げたアクティブラーニングの手法や障害学生支援といったテーマは、現在の高等教育の中心的な課題であり、今後も何らかの形で継続することが望ましい。また、令和8年度からのカリキュラム改正を見据えて、データサイエンスを活用した授業や遠隔授業の在り方についても研鑽を深める機会が必要と思われる。これらの研修の機会も含め、引き続き学部教育の発展のために検討を進めたい。

※この内容は当該年度終了後、本学におけるFD活動の一環として、本学HPに掲載します。